

ラ管理
ン管
イ持
社会
社維

日立製作所
製作所

ICT活用し支援

日立製作所は、情報通信技術（ICT）を活用して道路、トンネル、橋梁といった社会インフラの維持管理をサポートする事業を本格展開する。小型のセンサーを土木構造物に取り付け、継続的に施設の状態変化を計測。無線通信技術でデータを一元管理するサーバーに集約する。集まった情報を独自のデータマイニング技術を使って解析し、予防保全の計画立案などに活用していく。

提供するサービスは「状態監視」と「予兆診断」の2種類。状態監視は適用対象に応じ、のり面などの場合は傾斜計や雨量計を使った地滑りの監視、標識や街路灯などの場合は傾斜計と固有振動数計を使った落下や金属疲労の監視と、使い分けができる。

予兆診断サービスでは、センサーで収集した

データを使い、施設や機器類の状態変化を診断。異常や劣化の状況を定期的に提供する。計測対象物はトンネル内に設置されたジェットファン、橋梁などを想定。橋脚の場合、固有振動数計を橋脚に取り付け、根元部分の洗掘が進んでいないかなどを管理することが可能だ。

同社は、情報提供サービス

ン、携帯情報端末を連携させる技術を使えば、車両による巡回点検で自動的に情報を収集することも可能だという。

同社は、グループ全体でICTを活用したスマート情報分野の強化に取り組んでいる。社会インフラを有望領域の一つに位置付けており、道路やトンネルなどのライフサイクルを適切に管理し、長寿命化とトータルコストの削減につながるサービスとして積極的に提案活動を展開する。

【建設ICT】

- | | | | |
|----------|--------|--------|-------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 | 4. 日経 |
| 4. 読売 | 5. 岐阜 | 6. 中伊 | 5. 日勢 |
| 7. 産経 | 8. 静岡 | 9. 伊勢 | 業刊 |
| 10. 中部経済 | 11. 建通 | 12. 日刊 | 業海 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃 | 15. 日本 | |
| ⑬建設工業 | | | |

平成25年10月31日(朝)・夕) P3-4

建設工業新聞